

1 社会科を学ぶ意義・目的・・・何のために学ぶのか

広い視野に立って、グローバル化する社会に対する関心を高め、社会的な見方・考え方を働かせ、主体的に課題を追求したり、解決したりする活動を通して、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる 平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質・能力の基礎を身につける。

2 学習到達目標・・・この1年間を通して、どのような力を身につけていくのか

- ・見通しを持って、主体的に課題を追求したり、解決したりする活動を通して、粘り強く学習に取り組む力、学習方法を調整する力を身につける。（主体的に学習に取り組む態度）
- ・世界各地との時差、地球的課題の要因や影響、仏教の伝来とその影響などの課題について、意味や意義、相互の関連を多面的・多角的に考察したり判断したり、課題の解決に向けて公正に選択・判断したりする力、それらを基に議論したりする力を身につける。（思考力・判断力・表現力）
- ・日本の国土及び世界の諸地域について、地域構成や人々の生活と環境、歴史などを理解するとともに、書籍・地図・インターネット等で情報を収集し、調べたり、まとめたり、発表したりする技能を身につける。（知識・技能）

3 使用教材と持ち物

使用教材	(地理分野) 教科書 中学生の地理 (帝国書院) 副教材 中学校社会地図 (帝国書院) 社会の自主学习 (新学社)	持ち物	(地理的分野) 教科書 ノート ファイル 地図帳 ワーク (歴史的分野) 教科書 ノート ファイル ワーク
	(歴史的分野) 教科書 中学校社会歴史的分野 (東京書籍) 副教材 社会の自主学习 (新学社)		※その他、授業で必要なものを指示することがあります。しっかりと話を聞いて忘れ物がないようにしましょう。

4 学習の取り組み方

<主体的で対話的な深い学びをする!!>

学習の進め方

主体的な学び



意欲を持って学習に取り組めるよう、自らの学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりして、自身の変容を自覚する。

対話的な学び



対話によって、自分の考えを広めたり、深めたりする。

深い学び



考察、構想したり、説明したり、議論したりしながら課題を追究したり、解決したりする。

<家庭学習の進め方> 復習は、やはり大切! ～学習例～

(1) 教科書の内容を資料とからめて読んだり、覚えたりする。*自学ノートを活用するのもOK。

(2) ワークの問題を解く

① 別冊のワークノートを活用する(定期テスト時に提出するもの)

ワーク本体は、最後の仕上げに使うと効果的。

② ワークの問題は、間違えたら覚え直しをする。

③ ②では間違えた問題が多くても粘り強く覚え直しをする。また、折に触れて解いた問題を確認すると、確かな学力につながる。

*学習方法を工夫しながら、粘り強く学習に取り組んでいこう。

*より良い学習スタイルの構築のため、少しずつ学習の仕方を変えていくことも大切!

学習上の注意等

- ・授業はチャイムが鳴るまでに着席し、机上に教科書など準備物を用意しておきましょう。
- ・忘れ物をしたときは、先生に申し出るようにしましょう。
- ・ノートやワークなどの提出物は期限を守って必ず提出しましょう。

学期	月	単元計画	試験	評価の観点	評価の方法
前期	4	(地理的分野) ○世界と日本の地域構成 ・世界の姿	中間 確認 期末	主体的に学習に取り組む態度	○单元ごとに作成「見通し」を立てる ・学習課題が理解できる。 「学習の振り返り」をする。(中間) ・学習した内容を理解している。 ・学習方法の調整ができる。 「学習の振り返り」をする ・学習した内容を理解している。 ・学習方法の調整ができる。 ・粘り強く学習に取り組む事ができる。
	5	・日本の姿			
	6	○世界のさまざまな地域 ・人々の生活と環境 ・世界の諸地域			
	7	○世界の諸地域 ・アジア州			
	9	・ヨーロッパ州 ・アフリカ州 ・北アメリカ州			
		・南アメリカ州 ・オセアニア州			
後期	10	(歴史的分野) ○歴史へのとびら	中間 確認 学年末	思考 判断 表現 知識 技能	・定期テスト ・小テスト ・レポート ・振り返りシート ★振り返りシートの内容 ・授業への取り組み ・学習の理解 ・学習方法の調整
	11	・歴史をとらえる見方・考え方 ・身近な地域の歴史			
	12	○古代までの日本 ・世界の古代文明と宗教のおこり ・日本列島の誕生と大陸との交流			
	1	○中世の日本 ・武士政権の成立 ・ユーラシアの動きと武士の政治			
	2	の展開			
	3				

1 社会科を学ぶ意義・目的・・・何のために学ぶのか

広い視野に立って、グローバル化する社会に対する関心を高め、社会的な見方・考え方を働かせ、主体的に課題を追求したり、解決したりする活動を通して、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる 平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質・能力の基礎を身につける。

2 学習到達目標・・・この1年間を通して、どのような力を身につけていくのか

- ・見通しを持って、主体的に課題を追求したり、解決したりする活動を通して、粘り強く学習に取り組む力、学習方法を調整する力を身につける。（主体的に学習に取り組む態度）
- ・日本の諸地域の特色や環境と人々の生活についての関連や、近世以降の日本のあゆみと諸外国との関わりにおける課題について、意味や意義、相互の関連を多面的・多角的に考察したり判断したり、課題の解決に向けて公正に選択・判断したりする力、それらを基に議論したりする力を身につける。（思考力・判断力・表現力）
- ・世界と比較した日本の地域構成や地域的特色、また近世から現代までの日本の歴史を理解するとともに、書籍・地図・インターネット等で情報を収集し、調べたり、まとめたり、発表したりする技能を身につける。（知識・技能）

3 使用教材と持ち物

使用教材	(地理分野)	持ち物	(地理的分野)
教科書	中学生の地理 (帝国書院)		教科書 ノート ファイル
副教材	中学校社会地図 (帝国書院)		地図帳
	社会の自主学习 2 (新学社)		ワーク
	(歴史的分野)		(歴史的分野)
教科書	新しい社会 歴史 (東京書籍)		教科書 ノート ファイル
副教材	社会の自主学习 2 (新学社)		ワーク
			※その他、授業で必要なものを指示することがあります。しっかりと話を聞いて忘れ物がないようにしましょう。

4 学習の取り組み方

学習の進め方	<主体的で対話的な深い学びをする!!>	
	主体的な学び	⇒ 意欲を持って学習に取り組めるよう、自らの学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりして、自身の変容を自覚する。
	対話的な学び	⇒ 対話によって、自分の考えを広めたり、深めたりする。
	深い学び	⇒ 考察、構想したり、説明したり、議論したりしながら課題を追究したり、解決したりする。
学習の注意	<家庭学習の進め方> 復習は、やはり大切! ～学習例～	
	(1) 教科書の内容を資料とからめて読んだり、覚えたりする。* <u>自学ノートを活用</u> するのもOK。	
	(2) ワークの問題を解く	
	① 別冊のワークノートを活用する（定期テスト時、休み明け等に提出するもの） ワーク本体は、最後の仕上げに使うと効果的。 ② ワークの問題は、間違えたら覚え直しをする。 ③ ②では間違えた問題が多くても粘り強く覚え直しをする。また、折に触れて解いた問題を確認すると、確かな学力につながる。何度も取り組むことで力にしよう。 * <u>学習方法を工夫しながら、粘り強く学習に取り組んでいこう。</u> * <u>より良い学習スタイルの構築のため、少しずつ学習の仕方を変えていくことも大切!</u>	
学習の注意	・授業はチャイムが鳴るまでに着席し、机の上に教科書、ノート、ファイルなど準備物を用意しておきましょう。	
	・忘れ物をしたときは、授業前に先生に申し出るようにしましょう。	
	・ノートやワークなどの提出物は期限を守って必ず提出しましょう。	

5 1年間の学習計画

6 評価について

学期	月	単元計画	試験	評価の観点	評価の方法
前期	4	(地理的分野) 日本のさまざまな地域	試験	主体的に学習に取り組む態度	○单元ごとに作成 <u>「見通し」を立てる</u> ・学習課題を理解する。 <u>「学習の振り返り」</u> <u>をする。(中間)</u> ・学習した内容の確認をする。 ・学習方法の調整をする。 <u>「学習の振り返り」</u> <u>をする</u> ・学習した内容の確認をする。 ・学習方法の調整をする。 ・自己評価をする。
	5	1、身近な地域の調査	試験		
	6	2、日本の地域的特色	試験		
	7	3、日本の諸地域 (1) 九州地方	中間		
	8	(2) 中国・四国地方	試験		
	9	(3) 近畿地方	試験		
	10	(4) 中部地方	試験		
	11	(5) 関東地方	試験		
	12	(6) 東北地方	試験		
	1	(7) 北海道地方	試験		
後期	2	歴史的分野) 近世の日本 ヨーロッパ人との出会いと全国統一	試験	思考判断表現知識技能	・地理・歴史的事象について、その意味や意義、特色などについて、位置や自然、年代や環境などに着目して、多面的・多角的に考察し表現できる。 ・地図やグラフ、年表、歴史資料などの諸資料から情報を効果的に読み取り、理解できる。
	3	江戸幕府の成立と対外政策 産業の発展と幕府政治の動き	試験		
	4	開国と近代日本の歩み 欧米における近代化の進展 欧米の進出と日本の開国 明治維新	試験		
	5	日清・日露戦争と近代産業	試験		
	6	二度の世界大戦と日本 第一次世界大戦と日本 大正デモクラシーの時代	試験		

1 社会科を学ぶ意義・目的・・・何のために学ぶのか

広い視野に立って、グローバル化する社会に対する関心を高め、社会的な見方・考え方を働かせ、主体的に課題を追求したり、解決したりする活動を通して、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる 平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質・能力の基礎を身につける。

2 学習到達目標・・・この1年間を通して、どのような力を身につけていくのか

- ・見通しを持って、主体的に課題を追求したり、解決したりする活動を通して、粘り強く学習に取り組む力、学習方法を調整する力を身につける。（主体的に学習に取り組む態度）
- ・歴史・現代社会にみられる課題について、複数の立場や意見をふまえて、公正に選択・判断したり、する力や思考・判断したことを説明したり、それを基に議論したりする力を身につける。（思考・判断・表現）
- ・日本の歴史の流れを世界の歴史や各時代の特色と関連させながら理解するとともに、諸資料から歴史的事象に関するさまざまな情報を効果的に調べ、まとめる技能を身につける。また民主主義や民主政治の意義等について個人と社会との関わりを中心に理解を深めるとともに、諸資料から現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめる力を身につける。（知識・技能）

3 使用教材と持ち物

使用教材	持ち物
(公民的分野) 教科書 新しい社会 公民 (東京書籍) 副教材 社会の自主学习 公民 (新学社) (歴史的分野) 教科書 中学校社会歴史的分野 (日本文教出版) 副教材 社会の自主学习 歴史 (新学社)	(公民的分野) 教科書 ノート ファイル ワーク (歴史的分野) 教科書 ノート ファイル ワーク ※その他、授業で必要なものを指示することがあります。しっかりと話を聞いて忘れ物がないようにしましょう。

4 学習の取り組み方

学習の進め方	<主体的で対話的な深い学びをする!!> 主体的な学 ⇒ 意欲を持って学習に取り組めるよう、自らの学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりして、自身の変容を自覚する。 対話的な学 ⇒ 対話によって、自分の考えを広めたり、深めたりする。 深い学び ⇒ 考察、構想したり、説明したり、議論したりしながら課題を追究したり、解決したりする。 <家庭学習の進め方> 復習は、やはり大切! ～学習例～ (1) 教科書の内容を資料とからめて読んだり、覚えたりする。*自学ノートを活用するのもOK。 (2) ワークの問題を解く ① 別冊のワークノートを活用する(定期テスト時に提出するもの) ワーク本体は、最後の仕上げに使うと効果的。 ② ワークの問題は、間違えたら覚え直しをする。 ③ ②では間違えた問題が多くても粘り強く覚え直しをする。また、折に触れて解いた問題を確認すると、確かな学力につながる。 <u>*学習方法を工夫しながら、粘り強く学習に取り組んでいこう。</u> <u>*より良い学習スタイルの構築のため、少しずつ学習の仕方を変えていくことも大切!</u>
	学習上の注意等 ・授業はチャイムが鳴るまでに着席し、机の上に教科書など準備物を用意しておきましょう。 ・忘れ物をしたときは、先生に申し出るようにしましょう。 ・ノートやワークなどの提出物は期限を守って必ず提出しましょう。

学期	月	単元計画	試験		評価の観点	評価の方法
前期	4	第5章 3節 明治維新 4節 日清・日露戦争と近代産業	中間	主体的に学習に取り組む態度	○単元ごとに作成 <u>「見通し」を立てる</u> ・学習課題が理解できる。 <u>「学習の振り返り」をする。(中間)</u> ・学習した内容を理解している。 ・学習方法の調整ができる。 <u>「学習の振り返り」をする</u> ・学習した内容を理解している。 ・学習方法の調整ができる。 ・粘り強く学習に取り組む事ができる。	・ワークシート ・振り返りシート ★振り返りシートの内容 ・授業への取り組み ・学習の理解 ・学習方法の調整
	5	第6章 1節 第一次世界大戦と戦後の世界 2節 大正デモクラシーの時代 3節 世界恐慌 4節 第二次世界大戦				
	6	第7章 1節 戦後日本の出発 2節 冷戦と日本の発展 3節 新たな時代の日本と世界				
	7	第一章 現代社会と私たち 1 現代社会の特色と私たち 2 私たちの生活と文化 3 現代社会の見方や考え方				
	9	第二章 個人の尊重と日本国憲法 1 人権と日本国憲法 2 人権と共生社会 3 これからの人権保障 第三章 現代の民主政治と社会 1 現代の民主政治 2 国の政治の仕組み 3 地方自治と私たち			思考 判断 表現	・歴史・公民的事象について、その意味や意義、特色などについて、位置や自然、年代や環境などに着目して、多面的・多角的に考察し表現できる。 ・定期テスト ・小テスト ・レポート ・振り返りシート ★振り返りシートの内容 ・授業への取り組み ・学習の理解 ・学習方法の調整
	10	第四章 私たちの暮らしと経済 1 消費生活と市場経済 2 生産と労働				
	11	3 経済の仕組みと金融 4 国民の福祉 5 これからの経済と社会				
	12	第五章 地球社会と私たち 1 国際社会の仕組み 2 ささまざまな国際問題 3 これからの地球社会と日本			知識・技能	・定期テスト ・小テスト ・レポート ・振り返りシート ★振り返りシートの内容 ・授業への取り組み ・学習の理解 ・学習方法の調整
	1	終章 より良い社会を目指して				
	2	3年間の復習				
後期	3		学年末		・グラフ、年表などの諸資料から情報を効果的に読み取り、理解できる。 ・グラフ、年表などの諸資料から情報を効果的にまとめ、理解できる。	